

みんな、元気でね!

いつもたくさんの方が保健室に元気な顔を見せに来てくれました。休み時間の保健室はにぎやかだったね(*^▽^*) 大楽毛小学校です。8年間は、あきこ先生にとっては特別な、特別な、スーパーレア級の宝物です!これからのみんなの活やくを、遠くから見守っています! フレー、フレー、おたっ子!!



保護者の方へ

大楽毛小には8年間、お世話になりました。保護者の皆様には、担任外の私にもいつも気さくに声をかけていただき、とても有難かったです。私自身、3人の男の子を育てる親として子育てに悩むことも多々ありました。そんな時に出会ったのが「子は親の鏡」という詩です。最後に、この詩をご紹介します。と思います。今まで支えていただき、本当にありがとうございました。保健室 佐藤

『子は親の鏡』

ドロシー・ロー・ノルト 石井千春 訳

けなされて育つと、
子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、
子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、
子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、
子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、
引っ込みじあんな子になる

親が他人を羨んでばかりいると、
子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、
子どもは「自分は悪い子なんだ」と
思ってしまう

励ましてあげれば、
子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、
キレる子にはならない

誉めてあげれば、
子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、
子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、
子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、
子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、
子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、
子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、
子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、
子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、
子どもは強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと
思えるようになる

〔双葉社「親から子に伝えたい17の詩」より抜粋〕